

「安心」と「尊敬」と「信頼」を
得る人をめざしてほしい

清風学園 対談 シリーズ

仏教に基づく人格教育
を実践する清風中学校・
高等学校の平岡宏一校長
と、評論家の宮崎哲弥さ
んが対談。教育の未来を
展望し、次代を担う若者
にエールを送りました。

—平岡校長は卒業生でもあり
ます。生徒たちに自身を重ねて
思うことは



平岡 私は清風で学び、祖父で
ある校祖の間近で仏教に触れて
育ったことは、本当によかったと
思っています。本校の建学の精
神は「徳・健・財」です。三つ
がバランスよくそろい、人のお
役に立つ「自利利他」の精神を
備えてこそ、「清風魂」です。
2年前、校長に就任して以来、
建学の精神を私なりに解釈して
現代化し、日々新たに生徒に届
けることを使命と感じていま
す。
宮崎 平岡先生は私が尊敬する
当代随一のチベットの仏教学者で
あると同時に修行者でもあられ
る。しかも情熱を持って、人
お役に立て、と語りかけてくだ
さる。私が若ければ、こういう
学校で学びたかった。
平岡 そんな風に言っていたら
けると恐縮ですが、日々自分を
磨くことは心がけています。

—めざすべき人材とは

平岡 多くの人の役に立つた
めに、自分を高められる人。常
にベストを尽くし、過ちに真摯
に向き合い、安心と尊敬と信頼
を得る人です。これを実践すれ
ば、志が間違っていない限り、

どんな道でもリーダーたりうる
でしょう。

宮崎 自分が望んではいないも
のに、はからずもなってしまう、
というのは教育においても人生
においても失敗です。そうなら
ないために、どういう心持ちが
必要か、を教育は最低限教え
なければならぬ。「グローバル
時代の人材」や「強いリーダー
シップ」は望んだ結果として出
てくるもので、要は本人が満足
できる形で自己実現できればい
いのです。

—今の若者に注文とエールを

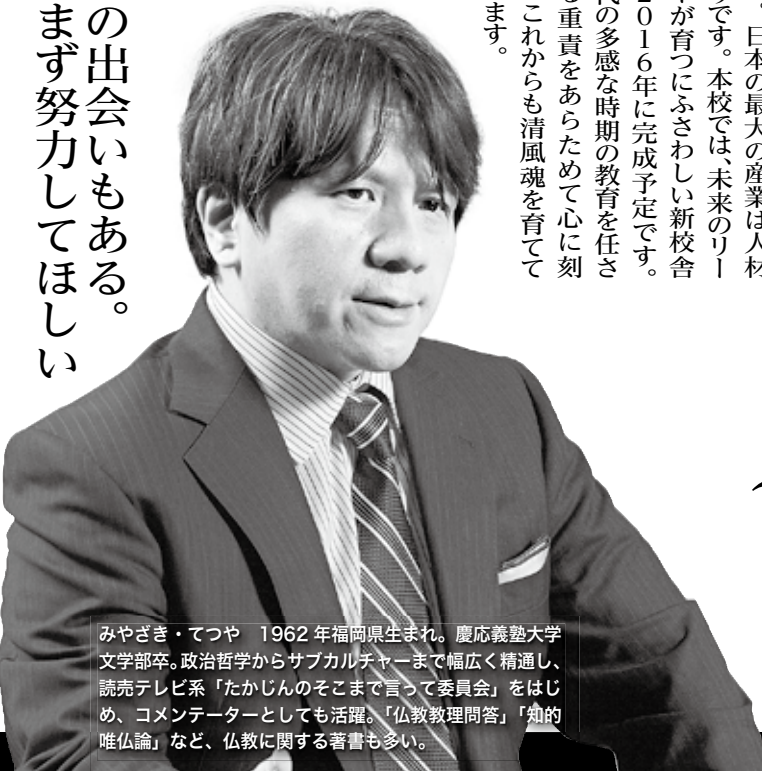
平岡 昨今、海外への留学が滅
るなど、若い人の内向き志向が
気になります。何事もチャレン
ジし、自分で勝手に見切りを付
けず、最後までやり遂げる気概
をもつてほしい。英語がバリアに
ならないよう、本校では英語教
育に力を入れ、海外の姉妹校と
交換留学を実施しています。

宮崎 人生はたった25億秒ほど
で終わってしまう。本当に
はかない。10代で先の見えない
悩みを抱えていても、後で振り
返るとほんの瞬間にも感じられま
す。人生には暗い日々がある反
面、輝きとの出会いもある。そ
れらを丸ごと受け入れる気持ち
で、たゆまず努力してほしい。

平岡 君の性格はここを直した
方がいい、とか、こうした方が
伸びるよ、とか、人格的なこと
を言ってもらえるのは学生の特
権です。大人が真剣に向き合え
ば、彼らは聞く耳を持つのです。
保護者も、子どもを一人前に
するのは大事業だと認識してほ
しい。日本の最大の産業は人材
作りです。本校では、未来のリー
ダーが育つにふさわしい新校舎
が2016年に完成予定です。
10代の多感な時期の教育を任せ
られる重責をあらためて心に刻
み、これからも清風魂を育てて
いきます。

次代を担うリーダーの条件とは ～よりよい生き方・よりよい社会をめざして～

対談 宮崎 哲弥 × 平岡 宏一 第3回
評論家 清風中学校・高等学校校長



みやざき・てつや 1962年福岡県生まれ。慶応義塾大学
文学部卒。政治哲学からサブカルチャーまで幅広く精通し、
読売テレビ系「たかじんのそこまで言う委員会」をはじめ、
コメンテーターとしても活躍。「仏教教理問答」「知的
唯仏論」など、仏教に関する著書も多い。



ひらおか・こういち 1961年大阪市生まれ。早稲田大
学第一文学部卒。高野山大学大学院博士課程単位取得。
チベット仏教を学ぶため、2年間インドに留学した。
清風中学校・高等学校で、社会科教師、副校長を経て、
2011年から現職。

10代はほんの一瞬。
暗い日々も輝きとの出会いもある。
たゆまず努力してほしい